



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月27日

上場会社名 株式会社マクニカ 上場取引所 東
 コード番号 7631 URL http://www.macnica.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 潔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐野 繁行 (TEL) 045-470-9870
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	190,486	27.8	6,343	35.2	9,087	126.5	5,735	116.0
25年3月期第3四半期	149,073	4.1	4,691	△13.6	4,011	△26.1	2,655	△0.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 8,818百万円(173.3%) 25年3月期第3四半期 3,227百万円(84.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	323.98	322.91
25年3月期第3四半期	149.99	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	135,190	75,011	54.4
25年3月期	115,315	67,186	57.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 73,490百万円 25年3月期 65,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	20.00	-	20.00	40.00
26年3月期	-	30.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	252,000	28.3	8,650	50.5	10,800	89.8	6,000	79.2	338.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社 (社名) 、 除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期3Q	18,110,252株	25年3月期	18,110,252株
26年3月期3Q	407,477株	25年3月期	407,215株
26年3月期3Q	17,702,914株	25年3月期3Q	17,703,254株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の持ち直しや円安による押し上げ効果の本格化などから輸出は堅調に推移し、さらに公共投資の増加など内需も好調に推移しました。内外需要の底上げは、製造業を中心とした生産活動の回復につながり、企業の投資マインドにも改善がみられたことから、設備投資は持ち直し傾向となりました。個人消費に関しましては、好調な企業業績や株高、雇用情勢の持ち直しなどにより消費マインドが改善し、さらに消費税率引き上げ前の駆け込み需要なども加わり、堅調に推移しました。

当社の属するエレクトロニクス産業におきましては、スマートフォンやタブレットPCなどのモバイルコンピューティング関連が引き続き好調に推移し、携帯電話市場、コンピュータ市場を牽引しました。一方で、スマートフォンの台頭によりコンパクト・デジタル・スチル・カメラが低調に推移し、薄型テレビが需要の減少などによる生産調整の影響を受けたことから民生機器市場は厳しい状況が続きました。車載市場は、好調な北米市場を始め、日本国内においては消費税率引き上げ前の駆け込み需要が顕在化してきたことなどから堅調に推移しました。産業機器市場は、国内外の景気回復、輸出環境の改善、生産活動の持ち直しなどに伴い回復傾向となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は190,486百万円（前年同四半期比27.8%増）、営業利益は6,343百万円（前年同四半期比35.2%増）、また、為替差益2,822百万円を計上したことなどにより、経常利益は9,087百万円（前年同四半期比126.5%増）、四半期純利益は5,735百万円（前年同四半期比116.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(集積回路及び電子デバイスその他事業)

当事業におきましては、スマートフォン向けの一部ビジネスの終息に伴い、当社における携帯端末市場向けは減少傾向となりましたが、スマートフォン市場の需要拡大基調は継続しており、それに伴った設備増強を背景に、LTE基地局や通信設備向けPLDやASSPは好調に推移しました。コンパクト・デジタル・スチル・カメラ向けアナログICが一部生産調整による影響を受けたものの、その他民生機器において商権の拡大が寄与するなど、当社における民生機器市場は好調に推移しました。車載市場は、良好な需要環境に加え、新規ビジネスの立ち上がりなどによりアナログICなどが順調に拡大しました。産業機器市場は、中国の景気減速一巡などにより、PLD、アナログICなどが総じて好調に推移しました。これらの結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は176,520百万円（前年同四半期比28.8%増）、営業利益は4,855百万円（前年同四半期比69.3%増）となりました。

(ネットワーク事業)

当事業におきましては、スマートフォン拡大による通信設備向け通信機器の需要は一巡したものの、官公庁や情報通信関連企業向けのネットワーク機器、標的型攻撃対策を始めとしたセキュリティ関連機器が拡大しました。また、企業向けセキュリティソフトウェア及び新規商材も伸長し、総じて好調に推移しました。これらの結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は13,992百万円（前年同四半期比16.4%増）、営業利益は1,775百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は135,190百万円となり、前連結会計年度末に比べて19,875百万円増加いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ20,072百万円増加となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が12,134百万円、商品が7,501百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ197百万円減少となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ16,566百万円増加となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が7,074百万円、短期借入金が4,000百万円、その他の流動負債が4,348百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4,517百万円減少となりました。この主な要因は、長期借入金が4,828百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7,825百万円増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が4,787百万円、為替換算調整勘定が2,340百万円増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末の17,089百万円に比べ2,482百万円減少し、また新規連結に伴う増加額1百万円を加えることにより、14,608百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは84百万円の減少（前年同四半期は3,222百万円の減少）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益8,938百万円及び仕入債務の増加等の増加要因があったものの、売上債権及びたな卸資産の増加等の減少要因があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,203百万円の減少（前年同四半期は1,510百万円の減少）となりました。これは、有形固定資産の取得及び貸付けによる支出等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,961百万円の減少（前年同四半期は2,833百万円の減少）となりました。これは、短期借入金の増加等の増加要因があったものの、長期借入金の返済による支出等の減少要因があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の属するエレクトロニクス業界は、スマートフォン市場の増勢に伴った通信インフラ市場の設備投資の拡大、国内外の景気回復を背景とした輸出環境の改善により車載及び産業機器市場が堅調に推移するなど、全体的に回復傾向にあり、当社の第3四半期連結累計期間における業績は好調に推移しました。これら事業環境と当社の収益状況を踏まえた結果、平成26年3月期の通期業績予想を修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,088	14,608
受取手形及び売掛金	37,904	50,039
商品	37,686	45,188
その他	8,521	11,456
貸倒引当金	△118	△137
流動資産合計	101,083	121,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,536	2,530
機械装置及び運搬具(純額)	17	14
土地	3,557	3,558
その他(純額)	1,385	1,426
有形固定資産合計	7,497	7,530
無形固定資産		
のれん	1,312	1,140
その他	863	805
無形固定資産合計	2,175	1,946
投資その他の資産		
投資有価証券	2,670	2,744
その他	1,965	1,887
貸倒引当金	△77	△73
投資その他の資産合計	4,559	4,558
固定資産合計	14,232	14,035
資産合計	115,315	135,190
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,185	28,259
短期借入金	4,500	8,500
未払法人税等	1,129	2,167
賞与引当金	1,181	1,276
役員賞与引当金	—	10
その他	9,568	13,917
流動負債合計	37,565	54,132
固定負債		
長期借入金	6,418	1,590
退職給付引当金	3,022	3,208
役員退職慰労引当金	440	454
その他	683	793
固定負債合計	10,563	6,046
負債合計	48,129	60,178

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,194	11,194
資本剰余金	19,476	19,476
利益剰余金	35,765	40,553
自己株式	△1,090	△1,091
株主資本合計	65,346	70,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192	324
繰延ヘッジ損益	△622	△211
為替換算調整勘定	903	3,244
その他の包括利益累計額合計	473	3,357
新株予約権	92	92
少数株主持分	1,274	1,428
純資産合計	67,186	75,011
負債純資産合計	115,315	135,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	149,073	190,486
売上原価	128,069	165,141
売上総利益	21,003	25,345
販売費及び一般管理費	16,311	19,002
営業利益	4,691	6,343
営業外収益		
受取利息	23	29
為替差益	—	2,822
その他	123	127
営業外収益合計	147	2,980
営業外費用		
支払利息	55	60
債権譲渡損	131	126
為替差損	592	—
その他	47	48
営業外費用合計	827	236
経常利益	4,011	9,087
特別利益		
固定資産売却益	—	5
投資有価証券売却益	738	154
その他	1	—
特別利益合計	739	160
特別損失		
固定資産除却損	17	31
関係会社株式評価損	16	145
関係会社株式売却損	41	—
関係会社出資金評価損	296	131
その他	92	—
特別損失合計	464	308
税金等調整前四半期純利益	4,286	8,938
法人税、住民税及び事業税	1,593	3,153
法人税等合計	1,593	3,153
少数株主損益調整前四半期純利益	2,692	5,785
少数株主利益	37	50
四半期純利益	2,655	5,735

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,692	5,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△264	132
繰延ヘッジ損益	△249	410
為替換算調整勘定	1,047	2,489
その他の包括利益合計	534	3,032
四半期包括利益	3,227	8,818
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,114	8,619
少数株主に係る四半期包括利益	112	199

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,286	8,938
減価償却費	913	817
受取利息及び受取配当金	△24	△36
支払利息	55	60
売上債権の増減額 (△は増加)	1,875	△10,242
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,454	△5,875
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,674	5,663
その他	△134	2,734
小計	△1,155	2,059
利息及び配当金の受取額	22	24
利息の支払額	△53	△69
法人税等の支払額	△2,035	△2,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,222	△84
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△123	—
有価証券の売却による収入	568	—
貸付けによる支出	△3,895	△5,744
貸付金の回収による収入	2,926	5,341
有形固定資産の取得による支出	△547	△510
無形固定資産の取得による支出	△203	△350
投資有価証券の取得による支出	△3	△19
投資有価証券の売却による収入	32	66
関係会社株式の取得による支出	△210	△2
関係会社出資金の払込による支出	△59	△72
その他	6	88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,510	△1,203
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,000	1,500
長期借入金の返済による支出	—	△2,500
配当金の支払額	△705	△883
少数株主への配当金の支払額	△33	△42
その他	△93	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,833	△1,961
現金及び現金同等物に係る換算差額	485	767
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,080	△2,482
現金及び現金同等物の期首残高	24,222	17,089
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,141	14,608

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	集積回路及び電子デバイスその他事業	ネットワーク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	137,082	11,990	149,073	—	149,073
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	27	27	—	27
計	137,082	12,017	149,100	—	149,100
セグメント利益	2,868	1,910	4,778	—	4,778

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	集積回路及び電子デバイスその他事業	ネットワーク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	176,520	13,966	190,486	—	190,486
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	26	26	—	26
計	176,520	13,992	190,512	—	190,512
セグメント利益	4,855	1,775	6,631	—	6,631

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,778
セグメント間取引消去	144
全社費用(注)	△230
四半期連結損益計算書の営業利益	4,691

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,631
セグメント間取引消去	145
全社費用(注)	△433
四半期連結損益計算書の営業利益	6,343

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。